

みずほCustomer Desk Report 2025/03/10 号 (As of 2025/03/07)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	148.09
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	148.16	1.0790	159.68	1.2883	0.6332
SYD-NY High	148.20	1.0888	160.75	1.2943	0.6337
SYD-NY Low	146.94	1.0782	159.29	1.2877	0.6283
NY 5:00 PM	148.06	1.0834	160.38	1.2921	0.6306

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	42,801.72	222.64	日本2年債	0.8500%	0.0000%
NASDAQ	18,196.22	126.96	日本10年債	1.5200%	0.0100%
S&P	5,770.20	31.68	米国2年債	3.9987%	0.0345%
日経平均	36,887.17	▲ 817.76	米国5年債	4.0830%	0.0255%
TOPIX	2,708.59	▲ 42.82	米国10年債	4.3041%	0.0247%
シカゴ日経先物	37,280.00	370.00	独10年債	2.8350%	▲0.0495%
ロンドンFT	8,679.88	▲ 2.96	英10年債	4.6475%	▲0.0250%
DAX	23,008.94	▲ 410.54	豪10年債	4.4110%	▲0.0760%
ハンセン指数	24,231.30	▲ 138.41	USDJPY 1M Vol	11.70%	▲0.20%
上海総合	3,372.55	▲ 8.55	USDJPY 3M Vol	10.95%	▲0.20%
NY金	2,914.10	▲ 12.50	USDJPY 6M Vol	10.66%	▲0.04%
WTI	67.04	0.68	USDJPY 1M 25RR	▲1.84%	Yen Call Over
CRB指数	303.04	1.97	EURJPY 3M Vol	11.18%	▲0.17%
ドルインデックス	103.84	▲ 0.22	EURJPY 6M Vol	10.88%	▲0.04%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月7日	16:00	独 製造業受注(前月比)	1月 -7.0%	-2.5%
	19:00	欧 GDP(前月比/前年比)・確報	4Q F 0.2%/1.2%	0.1%/0.9%
	22:30	米 非農業部門雇用者数変化	2月 151k	160k
	22:30	米 失業率	2月 4.1%	4.0%
	22:30	米 平均時給(前月比/前年比)	2月 0.3%/4.0%	0.3%/4.1%
3月8日	00:15	米 ボウマンFRB理事 講演	中立金利はパンデミック以降に上昇した。	
	02:30	米 パウエルFRB議長 講演	政策金利の調整を急ぐ必要ない。	

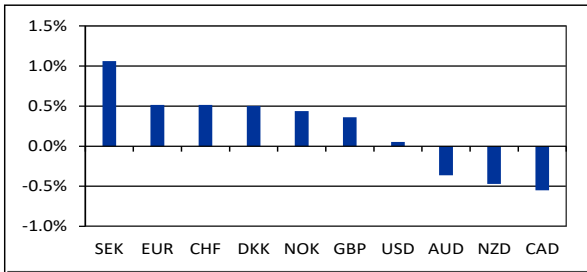
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月10日	14:00	日 景気一致指数・速報	1月 116.4	116.4
	16:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	1月 1.5%	-2.4%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	146.50-148.20	1.0750-1.0950	159.50-160.80

【マーケット・インプレッション】

注目されていた先週末の雇用統計の結果は低調であり、引き続き米国経済の減速を支持する内容であった。加えてトランプ政権は小さな政府を目指しており、リスク資産である株式のバリュエーションも調整が続いていることから、ドル売りトレンドは継続しよう。ドル円についても円金利の上昇が止まっておらず、短期的には円高方向へ動くことを想定する。

ただし、FOMC前のパウエルの発言が利下げ織り込みをブッシュバックするような内容であったことから米金利が下げづらくなったように見える。米CPI、米小売りなどが弱い結果を見せ、引き続き米経済の減速を指し示さなければドル円が大きく円高方向に振れることは難しいと想定する。

東京	東京時間のドル円は148.16レベルでスタート。148円を挟んだ値動きの後、日経平均の軟調な値動きとともに、約5か月ぶりの水準となる147円台半ばまで低下。一時、147.43をつける。その後も春闘を受けた日銀の利上げ期待の高まりもあってか、上値重く推移し147.59レベルで海外時間へと渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、147.59レベルでオープン。米2月雇用統計を午後控え方向感なく推移し、結局147.73レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0818レベルでオープン。財政政策の転換を受けて急騰していた独10年債利回りが高値圏で推移する中、1.0871まで堅調に推移し、結局1.0854レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は147円台後半でスタート。注目の米雇用統計の結果発表を控える中、世界株安の展開を受け円買いが優勢となり、じり安で推移し、147.73レベルでNYオープン。朝方に発表された米2月非農業部門雇用者数変化指数が予想を下回った他、失業率も予想より悪化し、低調な内容となった。発表後は米労働市場の減速が懸念され、一時146.94まで売られる。午後はパウエル議長が「利下げを急ぐ必要はない」との認識を示すと、低下していた米金利が上昇する動きに伴い、148.20まで戻す。その後は徐々に動意乏しくなり、148.06レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.07台後半でスタート。ユーロ圏第4四半期GDP(確報値)が上方修正されたことや、独金利が高水準で推移する展開を受けじり高で推移し、1.0854レベルでNYオープン。朝方は低調な米雇用統計や、「ロシアがウクライナとの条件付き停戦に合意の用意がある」との報道が値を支え、1.0888まで上昇する。午後はパウエル議長の効派発言を受け、ドル買い地合いが上値を抑え、1.0826まで反落。その後下げ流れ、1.0834レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。